

平成 25 年度外務省政府開発援助海外経済協力事業
(本邦技術活用等途上国支援推進事業) 委託費
「案件化調査」

現地調査資料 3

現地調査レポート (第三回訪問)

期間：平成 25 年 12 月 19 日～平成 25 年 12 月 20 日
調査地：ゲアン省ビン市
作成者：テクノプロジェクト

日程 : 2013 年 12 月 18 日～12 月 21 日

調査先 : ゲアン省ビン市

【調査日程】

日程	調査先	内容
12 月 18 日	移動	
12 月 19 日	・ 内部打合せ ・ ビン市病院訪問 ・ ヘルスセンター評価ヒアリング ・ 保健局評価ヒアリング	
12 月 20 日	・ 診療所評価ヒアリング (Le Mao) ・ 診療所評価ヒアリング (Dong Vinh) ・ 交通省病院訪問 ・ 診療所評価ヒアリング (Quan Bau) ・ 診療所評価ヒアリング (Hung Dong) ・ 診療所評価ヒアリング (Nghi Kim)	18:15 発 航空機で移動 ビン空港→タンソニャット空港
12 月 21 日	移動	

調査団員 : (株) テクノプロジェクト 吉岡社長、深田支社長、永瀬

: Toan Cau 社 (以降 リンクス社とする) Tien 社長、他スタッフ (5 名)

: (株) 富士通総研 公共事業部 坂野氏

: 通訳 HOANG HAI TRIEU (男性) ハイチュウ

■12 月 19 日 (木)

1) 今回訪問事前打合せ (団員内打合せ)

時間 : 11:00-12:00

場所 : PhoungDong Hotel ロビースペース

参加者 : TPJ : 吉岡、深田、永瀬 (通訳 : ハイチュウ)

リンクス : Tien 社長 他

- ・ Mame-NET の実証実験の状況報告 (以下 Tien 社長、リンクス社スタッフより)

ヘルスセンターから Mame-NET を利用する旨の指示が、各診療所へ通達された。

既に報告書の送付は Mame-NET を利用して開始されている。

また、各課で必要な情報のフォーマットを作成し、診療所へ送り、記載後、返信するようにしている。

診療所からヘルスセンターへ、よく書類を取りに往復していたがその回数が減った。

- ・ 診療所のコンピュータの台数の絶対数が不足している。診療所に 1 台しかないが、これでは不足。
- ・ 今回、TPJ から 2 台の PC を診療所に寄贈することにしたが、この PC は保健局へ渡し、保健局から必要な診療所へ配布するようにする。

-
- ・利用度合いの高い診療所へ優先的に（頑張っている診療所へ）PC を渡すようにするのがよいと思われる。（Tien 社長）
 - ・民間の病院は既に病院向けのソフトウェアが導入されているので、Mame-NET を導入するのは、少しハードルが高いと思われる。また、民間病院は EMR には興味ない。EMR を導入して各病院で共有することは彼らの利益を縮小化するからである。（Tien 社長）
 - ・過去に他国政府支援により PC を導入したことがあるが、現在は古くて利用できない。また補充もないことから現場は非常に困っている。（ゲアン省の事例ではない）ベトナムの医療現場では、支援終了後に継続的運用をどのように行うかが問題となっている。（Tien 社長）
 - ・現在、保健省の IT 局は SS-MIX に興味を持っている。SS-MIX をベトナムで導入することを検討しているようである。（Tien 社長）
 - ・TPJ がゲアン省で成功した後に、保健省主導で全国でカンファレンスを実施するのが非常に効果的である。（Tien 社長）

2)ビン市病院訪問

時間：14:00-15:00

場所：ビン市病院内で Mame-NET 説明とスケジュール説明

参加者：TPJ：吉岡、深田、永瀬（通訳：ハイチュウ）

リンクス：Tien 社長 他

ビン市病院：院長 他（各課の医局員 30名ほど）

- ・TPJ 永瀬から Mame-NET の説明
- ・リンクス Tien 社長から Mame-NET、Medisoft の導入スケジュール説明
（詳細は、後日メールで連絡する）



【写真 1:ビン市病院説明会の様子 1】



【写真 2:ビン市病院院長挨拶】

UBND TỈNH NGHỆ AN
SỞ Y TẾ
Số 2405/SYT-VF
"V/v: Phối hợp triển khai phần mềm Mame-net tại Bệnh viện"

CỘNG HÒA XÃ HỘI CHỦ NGHĨA VIỆT NAM
Độc lập - Tự do - Hạnh phúc
Nghệ An, ngày 18 tháng 12 năm 2013

Kính gửi: Giám đốc Bệnh viện Đa khoa Thành phố Vinh,
tỉnh Nghệ An

Trong khuôn khổ hợp tác giữa Sở Y tế Nghệ An, Công ty TPJ Nhật Bản và công ty Links Toàn cầu nhằm thực hiện dự án ODA Nhật Bản hỗ trợ nâng cao y tế trong toàn tỉnh Nghệ An, Sở Y tế đã được Cục quản lý Khám chữa bệnh - Bộ Y tế cho phép triển khai thí điểm dự án CNTT do MOFA Nhật Bản tài trợ, cụ thể giai đoạn đầu ứng dụng tại Thành phố Vinh.

Kế hoạch làm việc của Công ty TPJ Nhật Bản và Công ty Links Toàn cầu với Bệnh viện như sau:

1. Ngày 19/12/2013 (Từ 14h00 đến 15h00) :
Nội dung:
 - Giới thiệu phần mềm Medisoft THIS
 - Giới thiệu Mame-net (Đoàn Nhật Bản)Đoàn tham gia :
 - Lãnh đạo bệnh viện
 - Trưởng phòng khám
 - Các trưởng khoa nội trú
 - Trưởng khoa được
 - Phòng kế toán
 - Trưởng khoa xét nghiệm
 - Trưởng khoa chẩn đoán hình ảnh
 - Trưởng phòng kế hoạch tổng hợp
 - Điều dưỡng trưởng
2. Ngày 23/12/2013 (Từ 13:30 - 16:30):
Hướng dẫn sử dụng Mame-net tại hội trường
3. Ngày 24/12 - 27/12/2013 (Từ 13:30 đến 16:30):
 - Hướng dẫn Mame-net tại các trạm làm việc tại Phòng Khám
 - Chuyển báo cáo về Sở Y tế
 - Nhận thông tin từ Sở Y tế
4. Từ ngày 02/01/2014 đến 05/01/2014:
 - Cài đặt máy chủ tạm để chạy Medisoft tại phòng khám
 - Nối kết hệ thống
5. Từ 06/01 - 10/01/2014:
 - Huấn luyện Medisoft THIS tại phòng khám
6. Từ 13/01 đến 12/3/2013:
 - Chạy thử tại phòng khám
7. Từ ngày 13/03/2014: Chính thức chạy tại phòng khám

【図 1:保健局からビン市病院への指示書(表)】

Đề Dự án thí điểm thành công. Đề nghị Giám đốc Bệnh viện Đa khoa Thành phố Vinh phối, sắp xếp thời gian và bố trí cán bộ đúng thành phần làm việc cùng Đoàn.

Đề nghị Giám đốc Bệnh viện quan tâm phối hợp/.

Nơi nhận:
- Như trên;
- Các ĐVC LD Nghệ An;
- Lưu: VT, VP/

GIÁM ĐỐC
SỞ Y TẾ
Bùi Đình Long

【図 2:保健局からビン市病院への指示書(裏)】

3)ヘルスセンターにて実証実験評価ヒアリング

時間：15:30-16:30

場所：ヘルスセンター

参加者：TPJ：吉岡、深田、永瀬（通訳：ハイチュウ）

リンクス：Tien 社長 他

ヘルスセンター：ダーセンター長、他各課スタッフ

- ・Mame-NET は、全ての課で利用している。フォーマットを作成し、診療所との情報のやり取りを実施している。（ダーセンター長）
- ・利用に際して、我々のスキルアップを図る必要がある。（ダーセンター長）
- ・マニュアルの印刷方法がわからないので教えてほしい。
- ・フォーマット作成は難しいか？（TPJ）
→難しくない。
- ・フォーマットを使い一方通行の情報伝達として利用している。
- ・人員が少ない診療所への対策はヘルスセンターでどのように考えているか？（TPJ）
→各診療所の人員は足りていると言う認識である。（一時的に不足している場所もあるかもしれないが）今回の Mame-NET の運用にあたり、PC の絶対数が不足している。各診療所で最低 5 人は操作できるようにしたい。もし日本で使わない PC があれば、是非、診療所に提供してほしい。
- ・Mame-NET の利点はセキュリティにあると認識している。今まで、我々はそういったことをあまり考えなかった。（ダーセンター長）
- ・Mame-NET のロゴはよいと思うか？（TPJ）
→ロゴは良いと思う。名称は Mame-NET、Mane-NET どちらが正しいか？
Mame-NET が正しい。
- ・昔はヘルスセンターへ患者が来院していた。今は、診療所へ行くようになっている。
診療所とヘルスセンターの情報共有で Mame-NET は非常に有効である。
Mama-NET の導入により、診療所所員がヘルスセンターに来る機会が減っている。これは非常に便利になった。
- ・ダーセンター長、自ら Mame-NET を利用している。ヘルスセンターからの伝達情報をチェックしている。
- ★ヘルスセンターの利用者 6 名にアンケート回答協力を要請し、全員から回答を得た。
 - ・その他 Mame-NET への要望対応
 - ① 送信したファイルが送信済み BOX に入っていない。
→送信者の操作ミスがあるので、再度確認してもらう。
 - ② マニュアルの印刷がしたい
→管理者のグループ（Mame-NET）を作成し、当該グループから発信されたマニュアルを確認
 - ③ ヘルスセンターでは 16 のプログラム（国家保健計画）の報告がある。
各診療所からこの報告をあげてもらふ際に、返信を識別するのが困難になることが予測される。

★計算上、1日176通の返信が来ることになる。これだけの量を区別する仕組みがないと運用が難しい。

以下のように区分できると助かる。(理想はフォルダで別れること)

1. AAA プログラム

++ 01 診療所の返信

++ 02 診療所の返信

...

++ 25 診療所の返信

2. BBB プログラム

++ 01 診療所の返信

++ 02 診療所の返信

...

++ 25 診療所の返信

.....

16. XXX プログラム

++ 01 診療所の返信

++ 02 診療所の返信

...

++ 25 診療所の返信

- ・色分けされる等の工夫があると更に、わかり易い。
- ・検索で分類するのも可



[写真 3:ダー局長との打合せ]



[写真 4:ヘルスセンター内での利用状況確認]



[写真 5:ヘルスセンター内 利用状況確認]

4)保健局で評価確認

時間：16:45-17:15

場所：保健局 カン氏

参加者：TPJ：吉岡、深田、永瀬（通訳：ハイチュウ）

リンクス：Tien 社長 他

保健局：カン氏

- ・ロン局長多忙のため、カン氏に挨拶。ビン病院への指示書のコピーを受領。保健局は Mame-NET を情報伝達に利用している。

■12月20日（金）

1)診療所（Le Mao）評価インタビュー訪問

時間：8:30-9:00

場所：Le Mao

参加者：TPJ：吉岡、深田、永瀬（通訳：ハイチュウ）

リンクス：Tien 社長 他

- ・ Mame-NET 利用状況確認のため訪問。
- ・ 診療所長とスタッフにアンケート回答を依頼。
- ・ アンケート回答は設問の補足説明を口頭で伝えながら実施。
- ・ その他要望等

[Mame-NET について]

- ・ Mame-NET の検索で、利用日（または登録日）で検索できると便利になる。（フィルタリング機能）
- ・ Mame-NET によるデータ送信は便利である。今までのように E-メールに添付するより時間の節約となる。
- ・ ヘルスセンターへは Mame-NET で送付し、紙の送付は後でできるので良い。
（ガソリン代の節約になる）



[写真 6:Le Mao 診療所のアンケート回答の様子]

2)診療所（Dong Binh）評価インタビュー訪問

時間：9:15-9:45

場所：Dong Vinh

参加者：TPJ：吉岡、深田、永瀬（通訳：ハイチュウ）

リンクス：Tien 社長 他

- ・ Mame-NET 利用状況確認のため訪問。
- ・ 診療所長と医師、スタッフにアンケート回答を依頼。
医師は Mame-NET を利用していないため、未回答
- ・ その他要望等

- ・ PC の台数が足りない。他の業務でも PC を使うので追加で欲しい。
- ・ 皆、頑張ってシステムの勉強をしている。使いこなせるようになりたい。



[写真 7:Dong Vinh 診療所のアンケート回答の様子] [写真 8:Dong Vinh 診療所]

3)交通省病院訪問（今後の進め方の説明）

時間：10:00-10:30

場所：交通省病院（Giao thông 4）

参加者：TPJ：吉岡、深田、永瀬（通訳：ハイチュウ）

リンクス：Tien 社長 他

交通省病院：Dr Tiep 院長、Dr Ty 副院長

・保健局の紹介で、CyberMedisoft と Mame-NET の利用する機会に恵まれ、病院としては非常に喜んでいる。（Tiep 院長）

・ビン市病院も先行で進めようとしているが、ハードウェアが揃わないため遅れている（Tien 社長）
このパイロットプロジェクトはビン市で実験して、ゲアン省全体に展開しようとしている。また保健省も興味を持っている非常に重要な案件で有る。

また、計画の進行には責任を持ってもらいたい。（Tien 社長）

システムの導入後は、診療所を指導してもらい、薬の管理を実施してもらいたい。病院の薬の情報は診療所へインプットする情報となる。

Mame-NET のメリットは、病院と診療所の情報共有ができることである。病院間の連携も実現できる。患者情報（診断結果）も共有することができ、2014 年の末のプロジェクト終了時期には EMR も使えるようになる。期間は 1 年しかないので、それまでにお願いすることがたくさんある。

各部署でハードウェアを揃えてもらう必要もある。

リンクスの社員もビン市に常駐してサポートする。

交通省病院には IT 担当者が 1 名いるが、1 名では足りない。2 から 3 名は必要である。

ベッド数は 150 ベッド。

スケジュール詳細は別途、連絡する。交通省病院は、他の病院と比べて期間を 1/3 に短縮できると考えている。（Tien 社長）

- ・改めて、当病院を選んでもらったことに感謝する。院内には LAN も整備しており、CyberMedisoft も既に利用開始している。診療所と繋がりができるよう、病院側は協力する。

当病院はスキルがまだまだ不足している。IT の専門担当者も不足しているので、トレーニングが必要である。IT 担当者も 3 名必要と言われたので、補充する予定である。

トレーニングの実施の際には、人員を選抜する。(Trep 院長)

- ・ TPJ は ODA を活用して、病院と診療所の環境を整備していきたい。当病院で良いシステムを構築したいので協力してほしい。皆様にシステムを効率的に利用してもらいたい願っている。(TPJ 吉岡)
- ・ スケジュールは 12 月 31 日までに連絡する。

年明けに開始予定で、月末から頻繁に病院を視察する。

提示したスケジュールは守ってほしい。

トレーニング実施の際には、PC10 台とトレーニング用の部屋を用意してほしい。

様々な準備に、3 週間から 1 カ月にかかる見込みである。

(Tien 社長)

- ・ 年明けの開始は了解した。

詳細のスケジュールを送ってほしい。設備、部屋は用意する。

(Wifi の利用は、接続が不安定になることが予測されるため、できる限り利用しないように進言)

(Tiep 院長)



[写真 9:交通省病院打合せ 院長、副院長]



[写真 10:交通省病院打合せの様子]



[写真 11:交通省病院 院長・副院長と撮影]

4)診療所 (Quan Bau) 評価インタビュー訪問

時間：10:45-11:15

場所：Quan Bau

参加者：TPJ：吉岡、深田、永瀬（通訳：ハイチュウ）

リンクス：Tien 社長 他

- ・ Mame-NET 利用状況確認のため訪問。
- ・ 診療所長と医師、スタッフにアンケート回答を依頼。
- ・ その他要望等
 - ・ 緊急時に、PC が 1 台しかないので即時に利用できないことがある。せめてもう 1 台 PC が欲しい。
 - ・ PC が古く利用していると時々、使えなくなる。新しい PC が欲しい。
 - ・ MOH の指示により上位病院が下位病院へ情報提供をすることが通達されている。(Tien 社長)
 - ・ 今までは、上位病院から下位病院へ情報を流す習慣が無かったため、今回変える。(Tien 社長)
 - ・ 環境も整え、患者サービス向上へと繋げる。(Tien 社長)



[写真 12: Quan Bau アンケート回答の様子]



[写真 13: Quan Bau アンケート回答の様子]

5)診療所（Hung Dong）評価インタビュー訪問

時間：14:30-15:00

場所：Hung Dong

参加者：TPJ：吉岡、深田、永瀬（通訳：ハイチュウ）

リンクス：Tien 社長 他

- ・ Mame-NET 利用状況確認のため訪問。
- ・ 診療所長と医師、スタッフにアンケート回答を依頼。
- ・ その他 要望等
 - ・ まだ、Mame-NET を使い始めたばかり。
 - ・ 12 月 25 日にヘルスセンターの要請でフォームを送付する予定。
 - ・ 薬の情報に関しては交通省病院から情報が来るのを待っていた。
 - ・ PC は 2 階にあるため 1 階に持って降りる予定。



[写真 14: Hung Dong アンケート回答の様子]



[写真 15: Hung Dong 1 階の移設場所確認]



[写真 15: Hung Dong 庭で薬草を栽培]

6)診療所（Nghi Kim）評価インタビュー訪問

時間：15:15-15:45

場所：Nghi Kim

参加者：TPJ：吉岡、深田、永瀬（通訳：ハイチュウ）

リンクス：Tien 社長 他

- ・ Mame-NET 利用状況確認のため訪問。
- ・ 診療所長と医師、スタッフにアンケート回答を依頼。
- ・ その他要望等
 - ・ Mame-NET は使いやすい。ヘルスセンターへすぐに報告ができるので良い。
 - 今朝、予防接種の計画を Mame-NET で送付して、ヘルスセンターから受信したと報告があった。
 - ・ PC の台数が足りないなので、追加してほしい。

以上